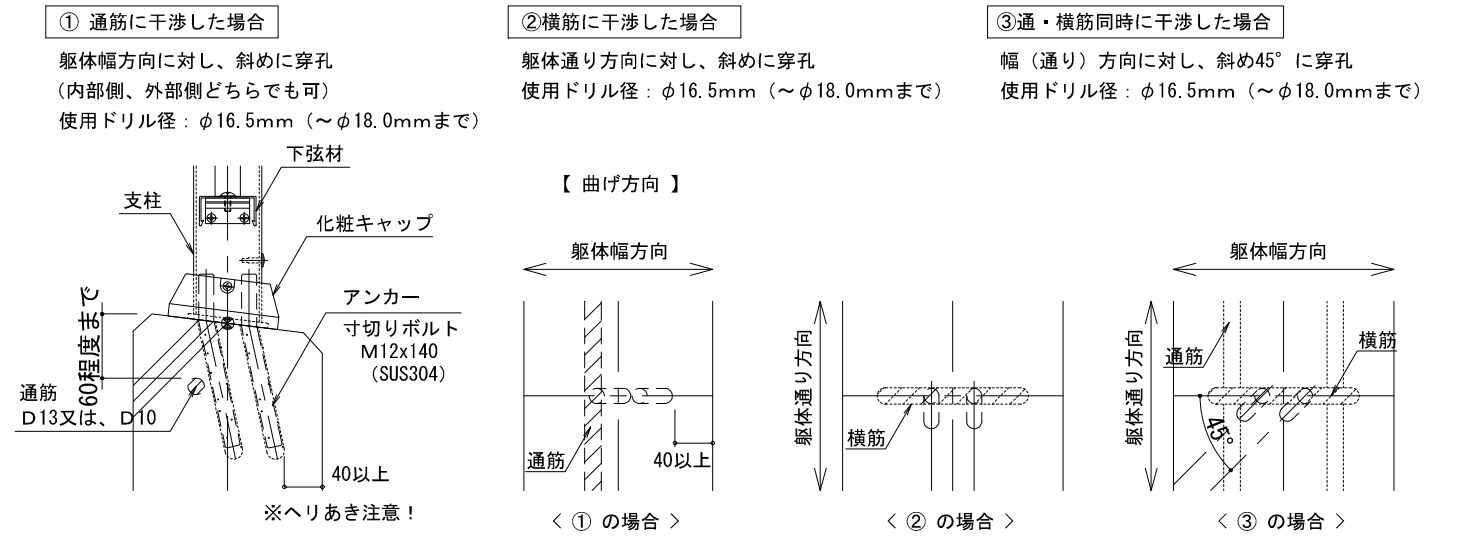
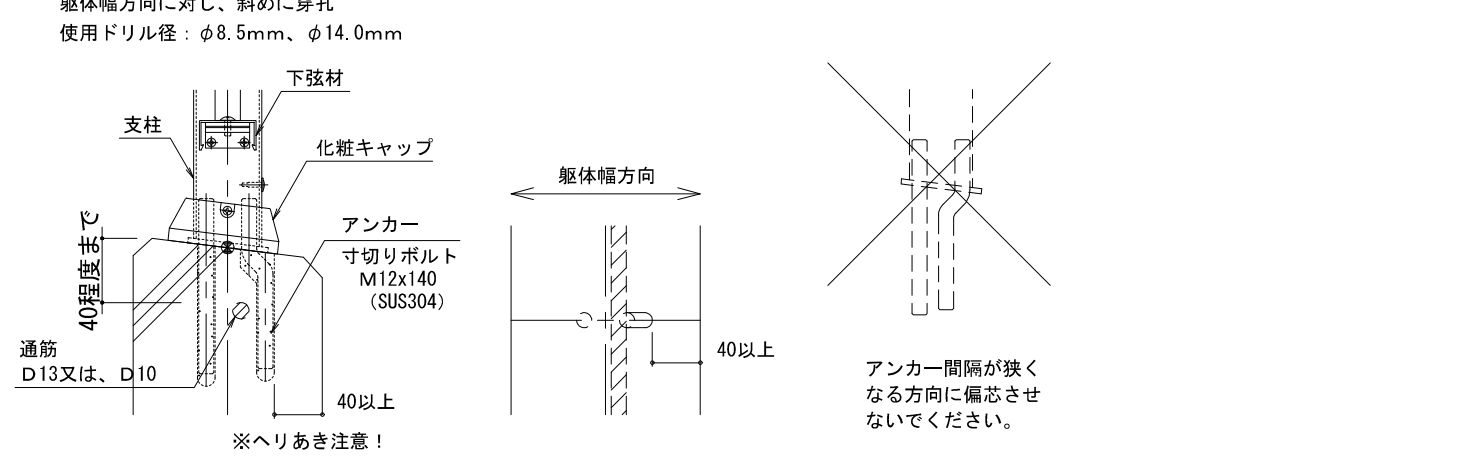


A : アンカー現場曲げでの対処方法 (A-1又はA-2の方法により干渉する鉄筋をかわす方法)

■ A-1 : アンカー斜め曲げによる方法 (アンカーと鉄筋の干渉が深いところで生じた場合の対応方法)



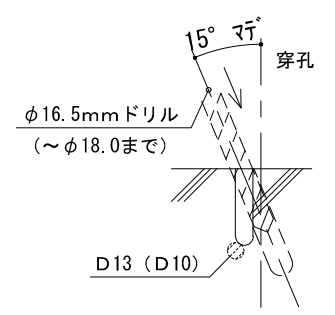
■ A-2 : アンカー偏芯曲げによる方法 (アンカーと鉄筋の干渉が浅いところで生じた場合の対応方法)



■ 施工方法

斜め穿孔方法

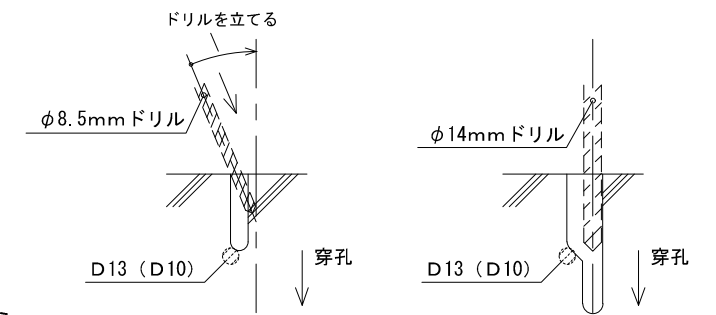
- 鉄筋干渉した穴から斜めに穿孔する。(図1 参照)



【 図 1 】

偏芯穿孔方法

- 鉄筋干渉した穴からφ8.5mmドリルで斜めに穿孔し 徐々にドリルを垂直に立てる。(図2 参照)
- 1 で穿孔した穴をガイドにφ14mmドリルで 垂直に穿孔し隣の穴との間を繋ぐ。(図3 参照)



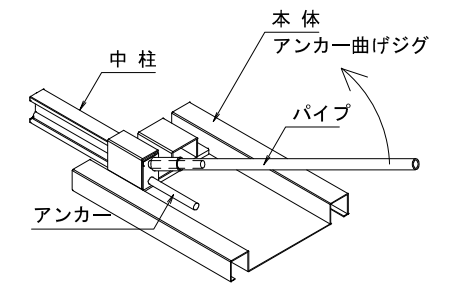
【 図 2 】

【 図 3 】

アンカー現場曲げ加工

【 アンカー斜め曲げ 】

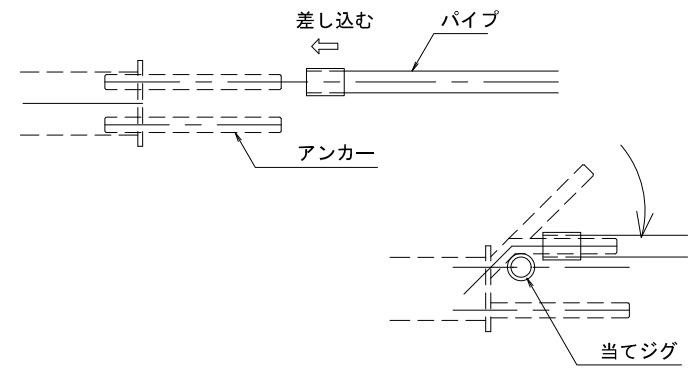
- アンカー曲げジグに中柱をセットする。
- 中柱のアンカーにパイプをセットし、穿孔した穴の角度に合うよう 2本とも平行に曲げます。(図4 参照)
- ジグから中柱を取り出して完成。



【 図 4 】

【 アンカー偏芯曲げ 】

- アンカー曲げジグに中柱をセットする。
- 中柱のアンカーにパイプをセットし、内部側のボルトにパイプを セットし、45° 程度上に上げます。(図4 参照)
- 当てジグをセットし、曲げたアンカーに再度パイプをセットして 下方向に曲げ戻します。(図5 参照)
- ジグから中柱を取り出して完成。



【 図 5 】

B : やむを得ない場合の対処方法

前記A、Bでは対処できず、やむを得ず鉄筋の切断を行わなければならない場合は、元請責任者に必ず報告し、事前にその許可・了解をとり、打合せ記録を残す。

【 議事録 : 日時、場所、出席者、内容、結論、打合せ者サイン等 】

日時 : _____

場所 : _____

出席者印

--	--	--	--	--

打合せ内容 :

.....

.....

.....

改訂年月日	概要